


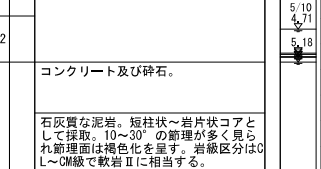



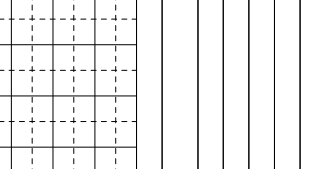
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 その他水系 南下条川 通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		Bor.No. 4		調査位置		広島県三原市須波西町				北緯		34° 21' 13.0565"							
発注機関		広島県東部建設事務所三原支所				調査期間		令和5年 5月 1日～ 令和5年 5月 11日				東経		133° 04' 35.5750"					
調査業者名				主任技師		現 場 代 理 人		コ 鑑 定 者		ボーリング責任者									
孔口標高		TP 88.77m		<div><div>角</div><div><div>180°</div><div>上</div><div>下</div><div>0°</div><div>90°</div></div></div>		方 向		<div><div>北</div><div>0°</div><div>270°</div><div>西</div><div>180°</div><div>90°</div><div>東</div><div>南</div></div>		地盤勾配		<div><div>24°</div><div>鉛 直</div><div>90°</div></div>		使用機種		(株)東邦製D1-C型			
総削孔長		10.00m		<div><div>度</div><div>0°</div><div>0°</div></div>				エ ン ジ ン		ヤンマー TF120M		ポ ン プ		BG-3C					

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取			室内試験	削孔月日					
										深度—N値図				N	深 度 値(m)	100mm毎の打撃回数					50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 値(m)	試料番号	採取方法
										0	10	20	30			40	50	60							
1	87.32	1.45		粘土混じり砂礫	褐 暗褐	rd2		盛土層に該当。粘土混り砂礫状を呈する。礫は礫径5～20mm程度。砂は粗砂～中砂からなる。植物根が混在する。	5/ 8 1.82		40	1.15	2	2	36	40	230								
2	86.77	2.00		rd2				水路工の基礎コンクリート及び砕石			6	1.45	2	2	2	6					300				
3				rd2				盛土層に該当。礫径10～30mmの礫と粗砂～中砂からなる。全体に細粒分を多く含む。			7	2.15	2	2	2	6					300				
4				rd3							7	2.45	2	2	3	7					300				
5	83.42	5.35		rd2							10	3.15	2	2	3	7					300				
6	82.42	6.35		コンクリート	灰		コンクリート及び砕石。	5/10 4.71 5.18		50	3.45	3	3	4	10	300	220								
7				50			4.15			3	3	4	10	300											
8				50			4.45			3	3	4	10	300											
9				50			5.15			3	3	4	10	300											
10	78.77	10.00		50			5.35			3	3	4	10	300											
11				泥岩	黒灰		石灰質な泥岩。短柱状～岩片状コアとして採取。10～30°の節理が多く見られ節理面は褐色化を呈す。岩級区分はCⅠ～CⅡ級で軟岩Ⅱに相当する。			50	5.35	3	3	4	10	300	220								
12							50			5.35	3	3	4	10	300										
13							50			5.35	3	3	4	10	300										
14							50			5.35	3	3	4	10	300										
15							50			5.35	3	3	4	10	300										